

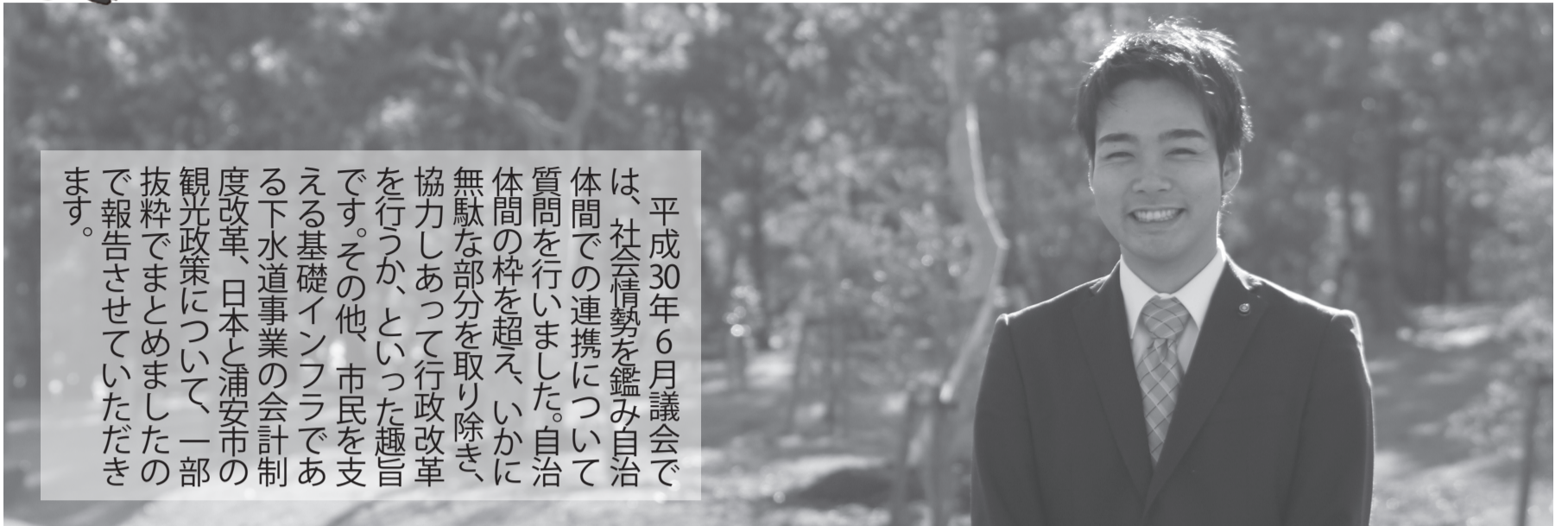


浦安市議会議員

柳きいちろう 議会報告

浦安レポート

2018.7 vol.16



平成30年6月議会では、社会情勢を鑑み自治体間での連携について質問を行いました。自治体間の枠を超え、いかに無駄な部分を取り除き、協力しあって行政改革を行うか、といった趣旨です。その他、市民を支える基礎インフラである下水道事業の会計制度改革、日本と浦安市の観光政策について、一部抜粋でまとめましたので報告させていただきます。

自治体制度の改革は不可避

浦安市が考える都市間協調とは？

近隣市とともに広域的な行政改革を

総務省が、「自治体戦略2040構想研究会第一次報告」を4月に発表しました。〔※自身の質問の後、第二次報告が7月に発表〕日本の人口減少が深刻化したケースを予測した報告書であり、高齢者人口がピークを迎える2040年頃にどんな状態になるかをシミュレーションしております。

研究会では、自治体の枠を超えた連携の強化を促しており、今後、個々の市町村がすべてのサービスを提供するといったことが、厳しいとの想定がなされています。本市の自治体財政の力を示す財

政力指数が、全国的に優位であることは確かですが、将来的な財政負担を考えると可能な限り負担を軽減していく手段をとっていく必要があると見られます。

この第一次報告の以前に、市長より今後浦安市としては「都市間協調」が必要であるとの認識が示され、自身としても改めて関心を持ち一般質問を行いました。

具体的には、平成30年度施政方針演説の中で述べられた、「より広域的なまちづくりを考え、「都市間競争」では無く、自治体間で協調しながら、サービスを提供していく」「都市間協調」の視点を持ち、国や県、近隣市区との連携強化を図る」といった方針について伺いました。

内田市長より「これまで、本

市は、様々な行政ニーズや課題に対し、先進的な取り組みにより、発展を続けてきました。しかしながら、市民のニーズが多様化、高度化する中、すべての行政サービスを市単独で提供していくことは、今後ますます難しくなっていくことが予想されます。

このため、近接する自治体間で協調しながら広域的な枠組みでまちづくりを考え、サービスを提供していく「都市間協調」の視点を持ち、近隣市との連携強化を図る必要があるものと考えたと述べています。

これにより、新たな価値を創出し、よりきめ細やかな行政サービスを目指していきたく考えています。』との答弁でした。

自身としても、この方針に賛同しており、多角的な観点から検討し、連携を進めていってほしいと思います。

近隣の市川市との協力は？

浦安市では市川市長の改選後、4月26日付けで市川市に対し45項目の協力・調整を依頼しました。その主な内容について質問をしました。

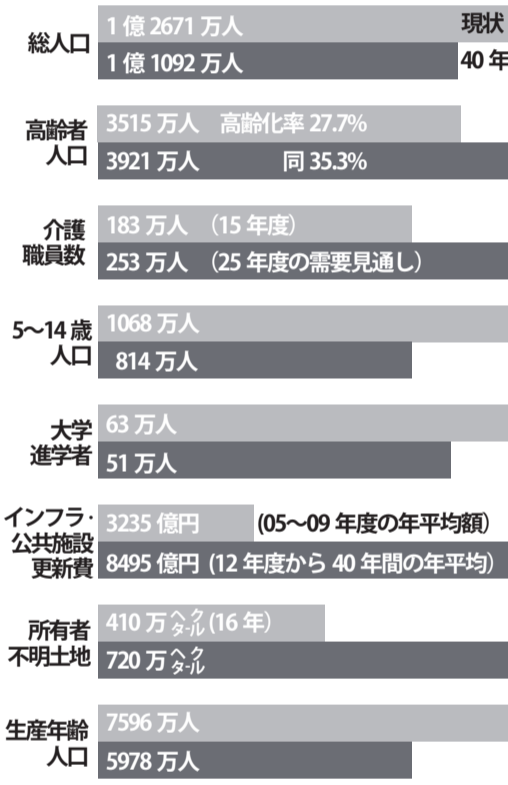
担当の企画部長より「市川市との協力・調整事項の主な内容につきましては、行政境界の確定や市境道路の維持管

理などの「市の管理に関する事項」、次に、体育館、図書館などの相互利用の在り方などの「施設の相互利用に関する事項」、また3点目として広域的な課題を両市で調整し、国や県に要望する「国・県へ要望する事項」、4点目として緊急医療体制や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の協力などの「新たに連携・協力を目指す事項」を、また、これまでも取り組んできた連携をさらに強化していく「継続して連携する事項」の以上、5分類45項目について申し入れを行ったところであります。』との答弁を得ました。

Profile
柳きいちろう(本名:柳毅一郎)
1984年(昭和59年) 東京都文京区生まれ
2002年(平成14年) 明治学院高校卒業
2008年(平成20年) 早稲田大学商学部卒業
2008年(平成20年) 株式会社商工組合中央金庫入庫
2011年(平成23年) 浦安市議会議員初当選
2012年(平成24年) 慶應義塾大学大学院経営管理研究科中退
2015年(平成27年) 浦安市議会再当選(二期目)
現在、浦安市議会教育民生常任委員会委員



現状は17年の数値。厚生労働省や文部科学省などの資料から2040年の日本の姿はこうなる？



下水道事業のUSJへ

官公庁会計(単式簿記)から、公営企業会計(複式簿記)へ移行し、効率的な運営を!

全国的にも下水道事業は老朽化と将来の費用負担を考慮し、効率的な運営が問われています。多くの地方自治体で、下水道使用料の引き上げが相次ぐ中、どのように本市の下水道事業を運営していくかは課題と言えます。

左記のランキングは、日本の下水道料金の金額を比較したものです。

下水道料金の高い自治体 (単位:円)	
1位	長野県松本市(上高地) 9,870円
2位	北海道夕張市 5,008円
3位	北海道美唄市 4,998円
下水道料金の低い自治体 (単位:円)	
1位	東京都府中市 892円
2位	埼玉県戸田市 1,004円
3位	東京都福生市 1,036円
...	...
37位	千葉県浦安市 1,512円

※下水道料金(20㎡を使用した場合の月額料金)
インターネットサイト、生活ガイド.comより柳毅一郎作成

下水道料金はこれだけ違う! 下水道事業は、自治体ごとに料金が違います。将来にわたって安全・安心で安価な水を確保するためには浦安市として排水を行う下水道事業の経営基盤を強化する事が必要とされます。

浦安市では、総務省の「公営企業会計の適用の推進」に基づき、官公庁会計(単式簿記)から、公営企業会計(複式簿記)へと移行することになりました。会計方式が変更となった場合、民間企業と同様に貸借対照表損益計算書、固定資産台帳等の財務諸表を作成することになり、公営企業の経営資産等を正確に把握することが可能となります。

また、本市の場合、東日本大震災の際に、国からの財政支援を積極活用し、下水道を大規模に直した経緯もあり、他市と比べれば、直近の下水道等の老朽化に対する更新費用はやや緩和されているのではないかと想定しています。そのような状況を含め、会計制度の変更に

公営企業会計への移行スケジュール

今後の具体的な運用について、公営企業会計への移行スケジュールを伺ったところ担当の都市整備部長より、『公営企業会計の導入スケジュールについては、平成29年度より進めておりました固定資産調査及び評価等が概ね完了し、平成30・31年度で、予算勘定科目の設定、条例規則の原案作成、会計システムの構築、財政シミュレーション等を行い、平成32年4月より公営企業会計の運用を開始する予定です。』との答弁を得ました。

今後、浦安市の下水道事業の状況をフロー情報(毎年の現金の流れ)だけでなく、ストック情報(下水道等の老朽化の状況)が得られ、総合的な観点から経営が可能になります。大変期待しているかと伝え、市民の皆様や職員・議員向けにもわかりやすい情報提供がなされることを要望しました。

また、本市の場合、東日本大震災の際に、国からの財政支援を積極活用し、下水道を大規模に直した経緯もあり、他市と比べれば、直近の下水道等の老朽化に対する更新費用はやや緩和されているのではないかと想定しています。そのような状況を含め、会計制度の変更に

柳の視点 浦安市の今後の観光政策について

日本を訪れる外国人旅行者は増加の一途をたどっており、日本人主体では2016年で約2,400万人、2017年は2,869万人とされており、政府の計画では2020年に4,000万人、2030年に6,000万人という目標を立てています。

人口減少が日本の論点となつていますが、その一方、一時的な滞在人口は年々増加し対応策について検討課題が生じています。東京ディズニーリゾートが存在する本市の地域特性や今後、東京ディズニーシーの大規模拡張を鑑み、重要な論点になつてくると考えています。また、直近で千葉県が公表



▲オリエンタルランド社のHPより

している千葉県観光入込調査報告書によると、平成28年中の浦安市内の東京ディズニーリゾートや温泉施設、屋形船等の観光施設の観光客数は延べ約4450万人。市内の宿泊者数は延べ約630万人となり、そのうち約21万人の外国人の方が宿泊しています。平成24年の約7万7000人と比較すると、外国人の宿泊者数は5年間で約2.8倍となり、今後も増加が見込まれます。

市内のホテルの激増

市内のホテルの件数や客室数については、平成27年3月に23件、8768室であったものが、平成30年5月では30件10,815室となつていきます。今後の市内ホテルの件数と客室数については、現在建設中のものを合わせると市全体で35件、12111室となる見込です。その影響についても分析を進める必要があります。

そして民泊については、市

行政視察

内に外国人旅行者を含む旅行者が訪れることで経済効果や空き家対策になる一方、住民側からは静謐な環境を守るといった観点より懸念が示されています。民泊については、県条例に基づき市川保健所の管轄になります。浦安市独自では対応できない問題であり、今後、論点になるかもしれません。観光政策として住民との調和を総合的に考えていくことが大切です。



大野城市へ子ども食堂の取り組みについて視察



慈恵病院(熊本市)における「このとりのゆりかご(あかちゃんポスト)」を視察



大牟田市へ認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを視察

編集後記

4月に自身の子どもが生まれ、子育ては、出産前に想像していたよりも大変であることを身にしみて実感しました。命の重さを感じ感動する一方、産後すぐから始まる、赤ちゃんのお世話には待てられません。

社会情勢の変化の中、子どもを取り巻く環境は日々変わつていきます。育児に関して、自身は新米であり、多くの先輩に対し、軽々しくいえることはありませんが、夫婦が仲良くしていることが大切であり、安心感を持つて子どもを育てることではないかと思えます。

自治体ができる範囲で心配や家庭の中のささいな不和の原因を少しでも取り除けるよう、子育てで感じたことを妻や子に教えていただきたがら市政へと反映して参ります。

柳きいちろうへの連絡はこちらからお願いいたします。
住所 279-0013
浦安市日の出 1-3-3-1203
TEL 050-3630-8791
E-mail kiichiro.yanagi@gmail.com